

青森北進路通信

第4号

進路決定状況

進学 国公立大 21名 (総合型選抜 6名 学校推薦型選抜 15名)
 私立大 58名 短大 5名 専門学校等 27名 計111名 合格



※12月9日現在

現在までの進学志望者の状況は上記の通りです。国公立大学21名(合格率58.3%)は例年並みの結果であり、学校種別では、私立大学への進学者が58名と最も多くなっています。いずれも担当教員による面接や小論文指導を受け、学校推薦型選抜(公募制推薦や指定校推薦)や総合型選抜で合格するパターンであることが本校の大きな特徴です。多くの先生方が指導や助言に時間を費やし、学校長が本校の代表生徒として「推薦」しているわけですから、合格したみなさんには進学先での活躍を期待していることを忘れてはいけません。短大や専門学校への進学者数も例年通りですが、職業選択に直結する専門学校選びでは、それぞれの生徒が、県内外を問わず、自らやりたい分野をしっかりと調べて進路選択しています。どの方面に進学したとしても、本人の目的意識がはっきりしている人は、自分にとっての進路選択は正しいということです。目標に向かって頑張ってください。

大学入学共通テスト近づく ~ 一般選抜に向けて追い込みの時期 ~

1月18日(土)・19日(日)は「令和7年度大学入学共通テスト」です。今年度、本校からは88名(普通科83名、スポーツ科学科5名)が受験します。大学進学を目指す人が身に付けておくべき基礎学力を測る最も大規模な試験であり、最初の関門になります。受験生にとって冬は最後の頑張りどころ。受験の困難を経験し、その壁を乗り越えることは、学力、精神面ともに大きな成長につながります。体調に気を配り、緊張感を持って最後までしっかり学習しましょう。

今年度の受験会場は、青森中央学院大学(青森市横内神田12番地)となりました。受験生の皆さんへの本校での共通テスト説明会は12月17日(火)を予定しています。

本校では、総合型、学校推薦型選抜などで既に大学に合格している生徒にも全員に受験を課しています。これは、一般選抜で入学してくる他の学生達と同等の学力をつけ、入学後に「ついていけずに退学する」などの深刻な事態に陥ることを避けるための方針です。最後まで粘り強く日々の学習に集中しましょう。



就職 民間就職9名・公務員26名が進路決定

民間就職希望者12名(普通科4名・スポーツ科学科8名)は、現在のところ内定率92%となっています。就職試験は9月下旬と進学試験よりも早いので、早い時期からどんな職種を希望するのか考え、夏休み中から履歴書の作成や面接練習に取り組み、準備する必要があります。進路指導部就職担当の指導のもと、求人票を見比べたり企業見学に行ったりと、慎重に検討し準備してきました。2年生の就職希望者も、ぜひ一度求人票(3階小ホール)を見に来てください。

【民間就職/県内 9名】

日本原燃株式会社 4名
 ヤンマーアグリジャパン株式会社東北支社 1名
 株式会社塚原 フィットネスクラブウイング 2名
 青い森鉄道株式会社 1名
 株式会社ホテル青森 1名

【民間就職県外 2名】

株式会社クボタ(つくば市) 2名



「自己分析」できていますか？
 自分がどんなことに向いているのか、人生で何を大事にしたいのか、何ができるのか…
 膨大な求人票や職種の中から一つを選ぶのは大変な作業。改めて自分と向き合い、じっくり考える必要があります。

今年度は昨年度よりも公務員希望者が多数のため、より合格の可能性を求めて、希望者は全員が複数の試験に挑戦しました。その結果、一次試験の合格者はのべ106名となり、その後、さらに二次試験を受験し、最終的な合格者はのべ61名となっています。しかし、複数合格できた生徒がいる一方で、残念ながらもすべて不合格という生徒もいます。そのような中で公務員としての進路が決定したのは、現段階で32名中、1名となっています。下記のもの合格者のべ61名の合格先です。

国家公務員一般職(事務)	1名	平内町職員(消防)	1名	海上保安学校学生	1名
国家公務員専門職(税務)	3名	長岡市職員(消防)	1名	一般曹候補生	14名
刑務官	4名	北部上北広域消防事務組合(消防)	1名	自衛官候補生	10名
青森県職員(教育事務)	2名	青森県警察官	10名		
青森市職員(事務)	5名	北海道警察官	3名		
弘前市職員(行政)	1名	石川県警察	1名		
十和田市職員(事務)	1名				
外ヶ浜町職員(事務)	2名				

来年度の公務員試験に向けて、2年生の希望者を対象に既に公務員学内講座I期がスタートしています！

進路関連行事報告

大学体験講座が行われました

10月22日(火)に1・2年生を対象に大学体験講座を実施しました。それぞれ興味や関心がある2講座を選択し、1コマ60分の講座を聴講しましたが、先生方とやりとりしながら理解を深めたり、実際の器具に触れたり実技を行うことができ、より有意義な時間になったと思います。今回の講座をきっかけに「自分は何に興味があるのか」「自分には何が向いているのか」「将来どのように社会に貢献したいのか」について考え、進路研究を進めていきましょう。

【生徒のアンケートから】

- ・看護学科にも様々な領域があり、その中の「小児看護学」について初めて詳しく聞くことができました。
- ・みんなで変体仮名を読むのが楽しかった。
- ・「理工学」と聞くと、物理と数学のイメージが強かったが、技術を理解し、説明し、活かし伝えるために全ての教科が大切になると学びました。
- ・社会福祉士になりたい気持ちがさらに強くなりました。
- ・大学でということが学べるかを少しでも知ることができたので、これからの進路選択に活かしていきたいと思いました。
- ・法学の講座を受講して、思っていた以上に法律について学ぶのは楽しいと思いました。

R6 大学体験講座 一覧			
No	講座名	学校名	模擬内容
1	教育	弘前大学 教育学部	そして変体仮名は姿を消した
2	看護	青森県立保健大学	青森県立保健大学の看護学科について
3	救急救命	弘前医療福祉大学短期大学部	「心肺蘇生って何？」
4	リハビリ	青森県立保健大学	姿勢について考える
5	農学・生物	弘前大学 農学生命科学部	植物のかたち作り —環境に応じて柔軟に対応する植物の発生戦略—
6	理学	弘前大学 理工学部	力を可視化する技術とモノづくり
7	工学	日本大学 工学部	社会における工学の役割
8	情報	公立はこだて未来大学	数学で脳をつくる
9	芸術・デザイン	専門学校 日本デザイナー芸術学院 仙台	アナログデザイン
10	法学	東北学院大学	「赤ちゃんポスト」とは何だったのか 日本の社会的養護を考える
11	経営	青森大学	経営と会計について
12	福祉	青森県立保健大学	医療ソーシャルワーカーが受け止める 患者家族の想い
13	心理	札幌学院大学	大学で学ぶ心理学とは
14	スポーツ①	柴田学園大学	競技タイプ別のトレーニングと食事
15	スポーツ②	八戸学院大学	スポーツ科学の基礎
16	保育・幼児教育	青森明の星短期大学	“人”と“人”がつながる人間関係 —コミュニケーションの秘訣を体得する—
17	エンタメ	尚美ミュージックカレッジ専門学校	音楽・エンタメ・イベントお仕事講座
18	歴史	弘前大学 人文社会科学部	「中国・明朝はどうして建国されたのか？」 ～生態環境とパンデミックから読み解く～
19	経済	青森公立大学	社会保障の支出を抑制したいとき経済学ではどう考える？—老齢年金の場合—

オール青森進学相談フェア・青森県職業体験フェアに参加しました

10月29日(火)に1年生が参加しました。会場の青森市総合体育館には36のブースが設けられ、各自が自由に相談や体験を行いました。多くの相談会は大学等への進学希望者向けのブースのみですが、今回は「ジョブカフェあおもり」ブースで職業適性診断ができ、青森県庁や自衛隊など就職希望者向けのコーナーも充実していたため、これから具体的に進路を考えていく1年生にとっては、視野を広げる良い機会になったと思います。これをきっかけに、各種説明会やオープンキャンパスにも是非足を運び、色々な選択肢を比較検討してみましょう。スタートが早ければ早いほど、十分な準備をして受験や就職試験に臨むことができます！



進路関連行事予定



12月25日(水)～ 冬期講習開始(1~2年:普通科、3年共通テスト受験者)

* 学年によって日程が異なります。HP等で行事予定を確認してください。

- 1月17日(金) 始業式・確認テスト・共通テスト激励会
- 1月18日(土)・19日(日) 令和7年度大学入学共通テスト
- 1月18日(土) ベネッセ総合学力テスト(1・2年)
- 1月19日(日) ベネッセ総合学力テスト(2年)
- 1月20日(月) 共通テスト自己採点(3年受験者)
- 1月31日(金) 合格者体験報告会(1・2年)



知っていますか？ 共通テストは長丁場

1日目、2日目とも、試験は9:30から開始、終了は1日目18:20、2日目18:00となります。試験と試験の間の待機時間も長いので、その間をどう過ごすかの戦略も必要です。使い慣れた参考書やノート、鉛筆を持参し、落ち着いて最後の見直しをすることや、気持ちの切り替えのために自分なりの工夫をして、周りに左右されずに過ごすことも考えなければなりません。試験時間に頭がフルに働くよう、起床時間や食事の時間にも気を配って、ベストな状態で受けたいものです。

～ 新時代 北高 is shining 一人一人が輝くために ～

今回は、令和5年度卒業生の山中美月(やまなかみつぎ)さん。昨年度、弘前大学人文社会科学部文化創生課程に進学し、現在は約90名いる三内丸山遺跡のボランティアガイドの中で最年少ガイドとしても活躍しています。今年、東奥日報でもその様子が紹介されました。

以前から、日本史や考古学が大好きだった山中さんは、北高校在学中に多様な課外活動、歴史関係の講演や大学主催のセミナーなどのイベントに積極的に参加し、興味・関心を深めました。その経験や記録を「高校生スキルアッププログラム」に登録し、「認定証」を交付されています。このような経験が、大学でも自らの学びたい事につながっており、科目選択の際に迷わず選択し、多くの仲間や先生たちと巡り合い、自分の居場所を見つけることができたと話してくれました。総合型選抜を受ける後輩の面接指導にも来てくれた山中さん。後輩へのメッセージを快く寄せてくれました！

卒業生の活躍 ～好きなことを追究！～

今進路に向かって頑張っているみなさん。今、自分の好きなこと、調べたいこと、やってみたい事は何か。卒業後、これをやりたいというものがあるれば、高校時代からどんどん関連する事をやってみるべきだと思います。自分の興味や関心から少し外れていても、思い切って飛び込んだ先で、新たな出会いや発見があり、自分の可能性や道が開けることがあります。勇気を出して、好きなことを追究しましょう！



遺跡の魅力を保ち続ける熱意を継いだ三内丸山遺跡最年長の室谷さんと最年少の山中さん